

全国で約 27 万人 高次脳機能障害を知っていますか



上口 由美子さん

(藤平田 2)

「高次脳機能障害を多くの人に認知してほしい」と話すのは、上口由美子さん。NPO法人「高次脳機能障害患者と家族の会つばさ」の理事長として、高次脳機能障害を持つ人やその家族が地域で安心して暮らせるように活動しています。

目に見えにくい障害

事故や病気で脳にダメージを受けたとき、記憶障害が残ったり、感情の制御ができなくなったりして生活に支障を来す。高次脳機能障害はパッと見ても分からない障害です。話してみると何だか違和感を感じますが、場合によっては物覚えが悪い人やわがままな人として済まされ、障害だと気付いてもらえないことが多くあります。

同じ思いが集う場所

私の長男は事故で高次脳機能障害となりました。見た目の傷が癒えた後も、人が変わったような振る舞いで日常生活が難しくなり、当時は将来への不安で悩みました。そんなときにつばさと出会い、同じ境遇の人たちから生きる希望をもらいました。居場所ができたと感じて救われたんです。

高次脳機能障害になると、うまく人付き合いができなくなることがよくあります。障害があっても自分らしく暮らせるように、気軽に集まって働ける施設作りが私たちの目標です。

プロフィール

名前 かみぐち ゆみこ
誕生日 7月31日
出身地 金沢市
野々市に住んで約30年
趣味 食べ歩き



今月の表紙

今月は富陽小学校に隣接するせせらぎ広場にあるビオトープで撮影した1枚です。ビオトープは生物が住む空間のことで、ヒトの活動で変わってしまった自然環境を元の状態に近づけ、植物や生物が住みやすい環境を整えることを目的としています。植物は光合成の際に二酸化炭素を消費するので、植物が増えることで地球温暖化の進行に歯止めがかかることも期待できます。

野々市検定回答

(問題は 10 ページ)

【第1問】B 家庭部門

市内における温室効果ガスは家庭部門からの排出が最も多くなっています。家族でコミュニケーションをとり、協力して温室効果ガス排出の抑制に取り組むことが大切です。

【第2問】C 自家用車の利用

移動の際に公共交通機関や自転車を利用することで、1人当たりの温室効果ガス排出量を削減することができます。

【第3問】B 20.3%

目標達成のためには、皆さん一人一人の心掛けが必要不可欠です。普段の生活から意識し、自分にできることを始めましょう。

編集後記

●今月は地球温暖化問題を取り上げました。地球温暖化が叫ばれて久しいですが、普段生活する中で私たちがどれほどの温室効果ガスを排出しているのか、ということはこれまであまり考えたことがありませんでした。今回調べてみると、冷暖房の温度設定や自転車の利用など、少し意識するだけで温室効果ガスの排出を削減することができるとが分かりました。人類はもちろん、地球にはたくさんの動物や植物が暮らしています。10年後の地球のために、皆さんも今日から取り組んでみませんか。(T・K)

●街路樹や公園の木々、田植え後の田んぼなど市内が綺麗な緑で溢れています。女性センターでの春の寄せ植え講座取材した帰り道、ふと今年2月の大雪を思い出しました。一面真っ白なまち、タイヤがはまって動けなくなったこの道……。あれから半年もたつていないのに、これほど景色が変わるなんて自然の力って本当にすごいと思ひました。次は大好きな夏がきます。夏に向けて変わっていく景色がとても楽しみです。(M・K)

テレビ広報 金沢ケーブルテレビネット

デジタルハイビジョン009ch

のいちふれあい通信

8:00~8:30、18:00~18:30

ラジオ広報 えふえむ・エヌ・ワン

FM放送 76.3MHz

パソコン、スマートフォンのアプリでも聴けます！

FM-N1ホームページからクリック！

▶ <http://fmn1.jp/>

ホームタウン野々市

月~金 / 6:30~7:00、11:15~11:55、16:00~17:00